

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和6年10月21日（月）
タイトル	「水の旅」～田んぼの水はどこから来てどこへ？～
水土里レポーター名	小田川土地改良区 主幹 打越 仁美

令和6年6月、青森県五所川原市立いずみ小学校4年生21名、五所川原市立金木小学校4年生33名を対象に、青森県西北地域県民局、津軽森林管理署金木支署、青森県土地改良事業団体連合会など関係機関のご協力のもと『「水の旅」～田んぼの水はどこから来てどこへ？～』を開催しました。

「水の旅」は、わたしたちが普段目にしている田んぼの「水」がどこから来てどこへ向かうのか、ダムやため池など農業用施設を見学するとともに、健全な水循環の中で森林が果たす役割について理解を深めてもらうことを目的としています。

子どもたちは、小田川ダムや尻無揚水機場では普段見ることができない巻上機や大きなポンプを興味深そうに見学したり、中央管理所では遠隔のカメラで30箇所の田んぼの水の様子を確認したり、農業用施設に隠れているぬいぐるみを探すカメラ操作体験をしました。また、津軽森林管理署から紙芝居を用いて森林の働きについて説明を受けた後、簡易ろ過装置を用いてろ過実験を行い、水質浄化の過程や仕組みなどを学びました。

私たちは、今後もこの活動を通じて、土地改良区の役割や食と生活を支える水循環システムを、地域の人みんなで守っていく気持ちを育んでいきたいと思います。

・ 令和6年6月14日（金）五所川原市立いずみ小学校4年生21名



小田川ダムの機能について学ぶ



中央管理所で遠隔監視するシステムを学ぶ

・ 令和6年6月21日（金）五所川原市立金木小学校4年生33名



藤枝ため池の役割について学ぶ



ろ過実験で水質浄化の仕組みを学ぶ